

歯科医師が担う地域包括ケア

訪問歯科診療について

歯と口の健康週間

6月4～10日

その地域で包括的な支援やサービスを提供する体制のことです。

日本は諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行し、65歳以上の人口は現在3000万人（国民の約4人に1人）を越え、2042年に約3900万人でピークを迎えますが、その後も75歳以上

の人口割合は増加し続けることが予想されています。そこで、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目前に、地域包括ケアシステムの構築が推進されています。しかし、人口が横ばいで75歳以上人口が急増する都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部など、高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。そのため地域包括ケアシステムは市町村や都道府県が、その地域の特性に応じてつくり上げていくことが必要となっており

ます。鶴岡地区医師会では、高齢者の尊厳の保持と自立

を支援する目的のもと、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、

鶴岡地区医師会地域医療連携室

ほたる 連携

病気や介護が必要になっても住み慣れたところで安心して生活したい。

入所する施設や自宅から通えるサービスってどんなのがあるの？申し込みは？

介護が大変で…。誰かに相談したい。

認知症や病気について学びたい。どこで教えてくれるの？

遠院が難しくなってきたけど、自宅に来てくれるお医者さんっているの？

どこに相談しているのか、分からない。

在宅医療・介護について、何でもご相談ください。

☎ (0235) 29-3021

私たちは地域のみなさまと医療・介護・福祉を繋ぎます。お気軽にご相談ください。

鶴岡地区医師会地域医療連携室「ほたる」のリーフレット

は緩やかだが人口は減少する町村部など、高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。そのため地域包括ケアシステムは市町村や都道府県が、その地域の特性に応じてつくり上げていくことが必要となっており、そのような地域包括ケアは医師や看護師だけでなく、さまざまな医療・介護職が連携して行っています。訪問歯科診療は、訪問歯科診療が担う大きな役割として、訪問歯科診療と入院患者への歯科介入があります。口腔内（口の中）の状態と全身の健康の相関性が認められるようになりましたが、自宅や施設にいらっしゃる高齢者の方や、入院されている方は口の中に気になることがあっても、なかなか歯科医院を受診する機会がもてない状況の方が大多数です。そのような方のQOL（生活の質）を上げるのに歯科治療や口腔ケアが重要となります。

ご本人や家族、またはその方に介入している医療・介護担当者が訪問歯科診療を頼みたいが、どこへ相談すればいいか迷ってしまうことも多くあると思います。鶴岡地区歯科医師会では、鶴岡地区医師会の「地域医療連携室ほたる」訪問歯科診療相談窓口が窓口となっており、スムーズに歯科介入が行われるように連携を行っていますので、困ったときはぜひご相談ください。

（鶴岡地区歯科医師会）